



TOPIC 3

市民公益活動支援センター
「登録団体リレー講座」を開催しました

【健康体操】

登録団体リレー講座(9月)は、「NPO法人ボディ・アライアンス」西村智美さんに講師をして頂き、健康体操をおこないました。



受講者も動きやすい服装で参加し、講師から指導してもらいながら体の使い方を体験しました。用意していたヨガマットを用いて、仰向けと座り姿勢における足のつま先の動かし方や骨盤の動かし方を学びました。普段意識しない部分を動かすことで、肩や腰の緊張がとけ、動きが軽くなることを実感できる講座になりました。



【防災食づくり】

登録団体リレー講座(10月)は、「かどま地域防災サポート隊」亀井一夫さんに講師をして頂き、門真市の水害における浸水の予想や、避難における「マイタイムライン」の作成を学び、防災食づくりをおこないました。



淀川の堤防が決壊すると、約15時間で門真市全域が水没し、浸水深は古川橋駅の辺りで最大3メートルとなり、水が引くまで約1週間かかります。災害から逃げ遅れないため「マイタイムライン」を作成し、臨機応変に防災行動の実行を判断することが重要です。

なお、左の写真は、ポリ袋で作る防災食(焼き鳥ひじきご飯・玉子焼き風)を作っているところです。



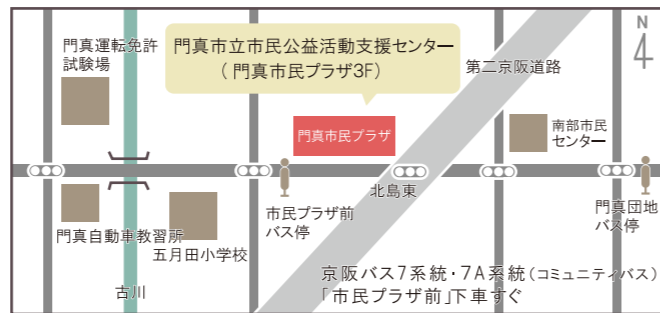
市民公益活動支援センターは、「非営利」かつ「不特定多数の利益」となる、市民公益活動をサポートしています。

門真市立市民公益活動支援センター
(指定管理者) 特定非営利活動法人 大阪NPOセンター

住所：〒571-0025 門真市大字北島546番地
門真市民プラザ3階
TEL：072-800-7431
FAX：072-800-7432
メール：ko-eki-c@aqua.ocn.ne.jp
開館時間：9:00～21:30
休館日：毎週木曜、年末年始(12/29～1/3)
ホームページ：www.kadoma-koeki-cnt.com



※警報などの発令により、開館状況が変更となる場合がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。



Access

- ・京阪バス7系統・7A系統(コミュニティバス)「市民プラザ前」下車すぐ
- ・京阪本線「古川橋」駅(北口)からバスで約15分
- ・地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南」駅からバスで約16分

公益times

~PUBLIC INTEREST TIMES~



門真市立市民公益活動支援センター

TOPIC 1

「地域資源セミナー～知る・見る・掘る～
『門真れんこん』のルーツと現状」を開催します



蓮畑を見て知っているけど、ほとんど口にすることがない、貴重な地域資源「門真れんこん」。そんなレアな存在「門真れんこん」について、もっと広く深く学びましょう。

門真市立市民公益活動支援センターでは、2022年12月、2023年1月・2月に、「地域資源セミナー～知る・見る・掘る～『門真れんこん』のルーツと現状」を開催します。

セミナー当日は講師の方に「門真の蓮根の歴史」のお話をいただいたあと、胴長靴・長手袋を着用し蓮畑に行き、門真れんこんを栽培している方のレクチャーを受けながら、実際に「門真れんこん」を掘ります(体験がむずかしい方は見学も可能です)。

- とき：第1回／2022年12月11日(日)(申込期間11月28日～12月9日)
- 第2回／2023年1月15日(日)(申込期間12月26日～1月13日)
- 第3回／2023年2月12日(日)(申込期間1月30日～2月10日)
- ※すべて午前10時から午後1時まで

申し込み：門真市立市民公益活動支援センターまで直接お越しください。

対象：門真市在住・在学・在勤の方

定員：各回10名程度 参加費：無料

詳しくは、センターまでお問い合わせください。



TOPIC 2

NPOのための「経営セミナー」を開催しました

NPO法人をはじめとした市民公益活動団体が、経営についてのスキルを身につけ、組織の運営力強化につなげることを目的に、2022年10月にNPOのための「経営セミナー」を開催しました。

3回連続講座で、大阪を中心に活動をしている「NPO法人Gift」の理事長 小山真由美さんと副理事長 荒川隆太郎さんに講師をしていただきました。

第1回【会計のいろは ～団体の健康診断～】

NPOのための「経営セミナー」第1回目(10月2日開催)は、【会計のいろは ～団体の健康診断～】について学びました。

①会計はなぜ必要なのか？

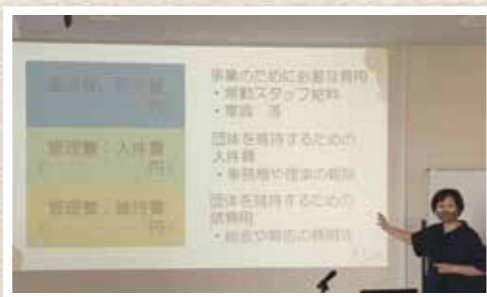
多くの方は、会計に苦手意識がありますが、会計を理解して活用することが大切です。まずは、「出入金管理」と「使途の把握」を随時行うことが重要です。数字を記録しておくことで、団体の戦略づくりや継続するための仕組みづくりを行うことができます。

つまり、会計の目的は、団体の関係者に対して、経営状況を報告することなのです。

②会計は団体の健康診断

会計の「透明性」を図った上で、団体が健康になるポイントは、以下の3つです。

1. 収支のバランスが取れている
 2. 数字の根拠が明確
 3. 事業計画と予算書が一致している
- つまり、団体の健康を維持することは、ダイエットの成功と同じなのです(収入:食べる量、支出:消費カロリー)。
あなたの団体の「決算書」は、大丈夫でしょうか？



第2回【寄附を取り入れた経営 ～NPOのファンづくり～】

NPOのための「経営セミナー」第2回目(10月23日開催)は、【寄附を取り入れた経営 ～NPOのファンづくり～】について学びました。

NPOは公的な社会課題解決機関として、行政や市場等から取り残された社会的ニーズを満たす重要な存在であり、その資金調達の手段のひとつとして「寄附」があることを再確認しました。

「寄附」の募り方について、市民が「寄附したい」と思えるような団体になること、「仲間集め」と思って団体としての活動や、そのお金の使い方に関して論理的に説明し、共感を得ることが必要ということがわかりました。

また「寄附依頼」の台本作成に挑戦したほか、講師お二人で、実際に「寄附依頼」のロールプレイングをしていただき、その様子を見ることによってさらにイメージを膨らますことができ、たいへん参考になりました。



第3回【クラウドファンディング ～共感と活動資金～】

NPOのための「経営セミナー」最終回となる第3回目(10月30日開催)は、【クラウドファンディング ～共感と活動資金～】について学びました。

「クラウドファンディング」とは、「群衆(クラウド)と資金調達(ファンディング)」のことで、インターネットを介して不特定多数の人に呼びかけ、資金を調達することです。従来の「寄附」の形とは少し違い、声掛けのみでなく、SNSなどで情報を拡散させ、仲間を呼ぶように共感者を増やしていくものです。

インターネットにあるプラットフォーム(クラウドファンディングを呼び掛けるサイト)に登録するだけでできるので、気軽に始めることができますが、実際はプロジェクトを達成するには、綿密な事前準備・計画・見積りが必要です。そのためには活動実績などを整理し、自団体を分析し魅力をアピールすることが重要になります。広く情報公開することで多くの方に認知され、新たな支援者を集めることができるのです。

また、団体のプロジェクト・目標額・期間・リターン(返礼品)・進行計画を考え、クラウドファンディングを企画するロールプレイングに挑戦しました。この時は、プロジェクトは思いつくのですが、獲得できそうな金額・期間・リターンの所まで考えが及びませんでした。このように団体の活動や実績を整理・分析することは、クラウドファンディングだけでなく、今後の活動や将来のビジョンを見定めることに役立つそうです。



この3回の経営セミナーを通じて、「NPOはボランティアだけではなく『経営』の視点も必要である」と知っていただけたのではないのでしょうか。

門真市立市民公益活動支援センターでは、今後も市民活動に役立つセミナーを開催する予定です。セミナー開催予定については「広報かどま」やホームページなどでも発信いたしますのでぜひご参加ください。